

5 「Educational Solution Seminar 2018 in 栃木」

- (1) 日時 平成 30 年 12 月 26 日
- (2) 場所 栃木県小山市桑市民交流センター
- (3) 研修内容

受付前、セミナー開催中には、企業展示が行われていた。デジタル教科書、プログラミング教材など、今話題に上がっている最新の ICT 機器がたくさん展示されていた。

開会式では、富士電機 IT ソリューション株式会社より、教育の情報化の進み具合や学習指導要領改訂など最新の動向が説明された。また、国の情報化推進の取組や今後の方針も紹介された。

① 「小学校プログラミング教育の実際～具体的な授業イメージの紹介～」

特定非営利活動法人「みんなのコード」主任講師、福田晴一氏の講演であった。

はじめに、プログラミング教育の意義や新学習指導要領での位置付けについて説明された。家庭科の調理実習で調理師を育てるのではないように、プログラミング教育でプログラマーを育てるものではないということを話された。

次に、プログラミング教材を活用した授業実践を紹介された。「プログル」を活用しての 5 年算数「正多角形と円」、「micro:bit」を使った 6 年理科「電気の利用」、4 年総合的な学習の時間を使ってのプログラミング教育の授業実践を紹介された。プログラミング教育の授業は、アンプラグド、プログラミング教材を使った取組、ロボットなどの機材を利用した取組などがあるが、どれを使っても、論理的思考力を身に付けることを一番に考え、学校の教育目標や児童の実情に応じて工夫して取り入れていくことが求められることが分かった。

② 「学校プログラミング教育の授業実践～小山市各学校における実践事例の紹介～」

小山市立教育研究所の情報教育研究員から、実践事例が紹介された。

小山市は、教育研究所が中心となり、教育の情報化を推進している。平成 29 年度からは、プログラミング教育にも積極的に取り組んでいた。「プログラミング指導教員養成塾」（特定非営利活動法人「みんなのコード」主催）を開催したり、計画的に研修会を行ったりして、本格実施へ準備を進めていた。まずは教員がプログラミング教育を体験することで、不安を払拭したり、児童への指導力向上を目指したりしていたのが印象的であった。このような取組で、今後、市内各校で、プログラミング教育を推進するリーダーが育っていき、児童への指導も進んでいくと思われる。